



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2014～2015 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「心に響き 心に残り そして心が熱くなる」

◆会長 永家 将嗣 ◆幹事 高原 清人 ◆会報委員長 岩垣津 亘 ◆会報担当 中田 専太郎

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1018 回	53 名	52 名	47 名	—	90.38%
前々回 1016 回	53 名	52 名	44 名	3 名	90.38%

<点 鐘> 会長 永家 将嗣
<ロータリーソング> それでこそロータリー

<会長の時間> 会長 永家 将嗣

皆さんこんにちは 昨日は5クラブゴルフコンペがあり高山中央がホストクラブで岩本さんを始め参加されたました会員の皆さまご苦労様でした。

高山中央からは11名の参加で島さんがベスグロ・上位5名で争われた団体戦では惜しくも2位でした。優勝は高山ライオンズクラブでした。

懇親会ではホストクラブ会長として開会のご挨拶をするようにと依頼されていましたが、仕事から帰りすっかり忘れていまして岩本さんからの電話で慌てて会場に駆けつけましたが島さんが代わりにご挨拶されていて私は「めでた」を担当させて頂きました。

さて今月は新世代のための月間ですので新世代の事をお話したいと思います。

2630地区では奉仕プロジェクト部門の中に青少年奉仕部門委員長がいらっしやりその下にインターアクト小委員会・ロータアクト小委員会・青少年交換小委員会・青少年育成小委員会があります。そして各部門委員会にはカウンセラーとアドバイザーがいらっしやいます カウンセラーはPGがアドバイザーには部門委員長経験者が配属されます。

そして青少年奉仕部門には竹腰PGがカウンセラーとしていらっしやいます。

この小委員会があるのは青少年奉仕部門とロータリー財団部門の2部門です。

それぞれの月間で各クラブから卓話依頼が地区事務所を通じて各委員長の下に来ます。毎年ですとこの9月に3～4クラブから卓話依頼がありますが今回は青少年育成としてはゼロです。

そして先日は青少年奉仕部門委員長を通じて三重県のクラブからカウンセラーと4小委員会に卓話依頼がありましたこれは通常考えられません1人5分位の卓話では十分に活動もお伝えできません私と青少年交換は欠席しました。ニコニコも昨年までは地区から3,000円でしたが今年は個人で払うべきものとのガバナーの見解です。これにも地区委員長の皆さんからは納得がいけないとの声でした。

インターアクト小委員会

12～18歳を対象としたクラブで、学校または地域社会をベースとして活動しています。「インターアクター」と呼ばれるインターアクトクラブ会員は、少なくとも月2回ミーティングを開き、年に2回、奉仕活動(学校や地域社会での活動1回と、国際理解を育むための活動1回)を実施します。2630地区ではインターアクトクラブがある日本の高校と韓国の高校が交流を行う日韓のインターアクト交流をメイン事業としています。

ロータアクト小委員会

18～30歳の若者が集まって、奉仕プロジェクトと交流活動を行うクラブです。クラブ会員は、2週間に1度集まり、知恵を出し合って活動計画を立てます。ロータアクトクラブには、スポンサーとなるロータリークラブ(提唱ロータリークラブ)が支援を提供します。

青少年交換小委員会

海外の高校生を対象に1年間の留学を受け入れ日本の教育を学ばせる。受け入れたクラブは交換留学生として派遣できる。皆さんご存じのように当クラブは今年ビクトリアを受け入れました。

<幹事報告>

幹事 高原 清人

◎国際ロータリー第2630地区ガバナー事務所より

・広島豪雨災害の義援金のご協力のお願い

○ロータリー友事務所より

・ロータリーの友英語版発行のお知らせと注文のご案内

<国際ソロブチミスト事務局より>

・新事務所のご案内

高山市岡本町4-1-3

会長 荒川きみ子

<高山市市民活動部長より>

・「高山市平和サミット」開催のご案内

日時：9月20日(土) 19:00～

会場：高山市民文化会館大ホール



<本日のプログラム>

青少年育成委員会

岡崎 委員長

こんにちは。今日は青少年育成委員会の担当例会という事で、今年度のクラブ活動計画書の基本方針に、キャリア教育を考える会が主催する出前講座をサポートし今後この活動の継続普及を図ると掲げました・このことから、今日はまずキャリア教育を考える会の活動状況を、新世代委員会統括理事の下田さんにお話して頂き、続いて、7月8日に丹生川中での出前講座の報告を岡崎よりさせて頂いて、9月20日に行われる中山中での出前講座の際、少しでも役立てばと企画しました。



「丹生川中学校出前講座」の報告 岡崎 壮男

丹生川中学校での出前講座では、開会式の後、村瀬祐治さんより「キャリア教育について」という事でのお話を20分ぐらいして頂き、12グループに分かれて、皆さんに50分ぐらいお話をさせて頂いた後、閉会式を15時30分には滞りなく終了しました。

今日は、丹生川中学校の生徒さんより頂いた感想文を、各人ごとにまとめさせて頂いたものの中から私が感動したことを紹介して、今後の出前講座に資すればと思います。まず、下田さんは、他の皆に支えられて今の自分がいる。人の喜びで頑張れる。何事も一生懸命やれば周りの人から感謝される。たくさん仕事をやるには勉強しないといけない。挨拶、返事、後始末が大事。

三枝さんは、お客様との信頼関係が大切で、親しきなかにも礼儀あり誠実に相手と向き合う事が大切。毎日の生活の中、目標を持ち、コツコツと努力し、正直に生活していく事が大切。コミュニケーションがどの仕事でも大切。

山本さんは、仕事に対する誇りや熱意を学びました。挨拶、掃除、返事などの礼儀が大切。

職場のチームプレー相手を信じる事が大切。ごちそうさまと言ってもらうのではなく自分からありがとうと言いたい。

前越さんは、コミュニケーション力、物事を多面的に捉える事が必要でその為の読書、人との会話をするといった努力が大切。お客様の喜びが一番、家族のような付き合いを大切にしている。

長瀬さんは、仕事はありがたいの積み重ね。自分の将来をどう過ごすかは自分次第。自分の可能性を閉ざさないためには勉強は大切。本当にやりたいものを見つけた時に、それを目指せる自分を今のうちに作らなければならない。

大保木さんは、打つ手は無限、失敗してもあきらめずに一生懸命取り組むことが大切。意識が変われば行動が変わる、行動が変われば結果が変わる、一つ一つの事を大切に過

す事。できるできる絶対できると自分を信じていけば先が見える。

堀口さんは、どんな時でも仲間というものの存在は大切だし、苦しい時悲しい時心の支えになる。

渡辺さんは、人生は速い、思っているうちに何もできなくなる。主切って行動すべきだ。相手に確実な事を教える(伝える)事が大切。先輩、家族、先生からの言葉は一生心に残る励みです。失敗は成功につながる。

伊藤さんは、小学校の時から16年間薬剤師になりたいと思ひ努力し、成ってから一度も辞めようと思ったことがない。自信と誇りを持って仕事をしていっしやる。僕もそんな仕事を見つきたいです。夢を追い続けなければいつか叶うそう思いました。

永家さんは、熱心に話されている姿から仕事をする事が生きがいなのだというのを感じた。障がい者の方から自分たちを見れば奇跡である。今、世の中にはやりたい事ができない人がいて、私たちは健康に生まれて、何でもできている事が奇跡なんだと改めて感じ、感謝しなければならぬと思った。

高原(清)さんは、第一印象が大切で目を見て元気に挨拶する事。夢は紙に書いて貼る、余白に具体的に取り組んだことを書いてコツコツと積み重ねていく。家を建てる事は、その人たちの歴史、人生について関わる事の出来る仕事である。

岡崎は、責任、毎日の積み重ね、素直に生活する。

「キャリア教育を考える会」 活動状況報告

新世代委員長

下田 徳彦

高山中央ロータリークラブでは、これまで出前講座を継続事業としてやってきて、今年で5年目を迎えます。本事業につきまして、これまで大変多くの方々へ協力して頂き、本事業が実施できたことに改めて感謝申し上げます。平成22年度清水会長の時から始まり、これまでの経験で分かった事がたくさんあります。当初、永家社会奉仕委員長のもと、青少年育成の継続事業としてはじめました。高山市の教育委員会に相談後、校長会にかけていただき、国府中と北陵中2項からの要請があり、試行錯誤しながら1年目の活動を実施し、今日に至っています。

回を重ねるごとに、課題や反省点も出てきましたが、これまで確実に進化してきたと確信しております。今年度市内の5中学から出前講座の要望依頼があった事は、これまでの成果の証であると感じています。現在抱えている課題としては、今後されに事業を継続していく上で、講師の負担が出てくるとマンモス校への対応には、多くの講師が必要になる事です。そうした経緯から昨年より高山市の教育委員会へ「キャリア教育を考える会」立ち上げについての働きかけを行い、今年より高山教育委員会が事務局となって新組織が立ち上げられました。現在高山中央 RC、高山西 RC、高山 LC、高山田城 LC、高山 JC、YEG、国際ソロプチミストの7団体で構成され、現在講師リストを作成中です。すべて出前講座終了後(10月以降)、会議を開催し、それぞれの意見や課題を聞きだし、今後の検討をしていきます。また高山中央 RC 体験を交えて皆さんの意見を確認し改善していきます。そして、それぞれのクラブの青少年育成についての考えや活動を聞いてまとめて精査し次につなげていき、成果として形(DVD等)にする予定です。今年度の5校については、それぞれの団体で担当して頂いております。(丹生川中は高山中央 RC、清見中は高山 LC、久々野中は高山西 RC、中山中は高山 JC、荘川中は YEG) 今日現在までに2校が実施されました。高山 LC が担当さ

れた清見中に見学に行きましたが、しっかりと事業を運営されていました。当初高山 LC メンバー間では、「事業の継続は難しいのでは?」という意見が多かったようですが、実際に講師として協力して頂いたメンバーからは、「素晴らしい事業」と考え方に変化が出ています。またこれまで協力して頂いている高山 JC や高山 YEG から、参加協力して頂いたメンバーからの事業への評価は高く、毎回協力して頂けるメンバーみえます。(今後の会員増強へのきっかけにもなります) 先日、永家会長と私は高山 JC の勉強会に講師として呼ばれ参加してきました。高山 JC としても本事業への評価は高まっています。

昨年度の例会で元鈴鹿市教育長の永井健次氏をお招きし、卓話をして頂きました。長年教育に携わってきた経験を踏まえ、キャリア教育の重要性についての卓話でした。現在の日本において2つの問題があり、1つは非正規雇用者が増えている問題(特に中小企業に元気がなく厳しい経営環境にある企業が多い)、もう1つは若者の意識の問題(海外と比較し自尊心がなく、夢がなく意欲が無い)がある。その問題を解決するためにはキャリア教育も重要な役割を果たしている。キャリア教育を目指す理由は3つあり、①夢と希望を持たせる②自尊心を持たせる③郷土への思いを持たせる。特に郷土への思いを持たせるために、副読本で飛騨を学び、国際化を目指す観光都市として海外に目を向け、グローバルな考え方を持つという具体的なお話もありました。キャリア教育では文化、歴史、産業を伝え、楽しい人生を語り、学校側の要用を事前に確認し先生が伝えられない事を伝えていく事が大切であることに目を向け、グローバルな考え方を持つという具体的なお話もありました。キャリア教育では文化、歴史、産業を伝え、楽しい人生を語り、学校側の要用を事前に確認し先生が伝えられない事を伝えていく事が大切であると教えて頂きました。さらに学校教育にはネットワークづくりが迫られている、これからの教育環境には連携と仕組みが必要であると教えて頂きました。



今年度地区の青少年育成小委員会に出向していますが、先日第1回の委員会が名古屋で開催されました。2630地区鈴鹿、亀山グループでは、水井教育長の時代に組織とシステムが出来ました。学校校長会や教育委員会を巻き込んで組織を作っています。鈴鹿では高校生を対象にロータリーメンバーが「おじさん先生」となり、講師1人が1クラスを担当して授業をしています。地区においての課題もあり、出前講座については講師の負担が多いという点は高山と同じようです。また教育リーダーの考え方によって方針が変わる為、どうしても温度差が生じるようです。

高山市では毎年約500人ずつ人口が減少しております。その中でも若者の人口流出の割合がもっと多く、高山市の将来においてもとても大きな問題となっております。人口流出を止めるには地元就職が最も効果的であると思います。しかしこれらの問題は起業だけで解決できるものではなく、行政、学校、地域が連携していく事が必要であります。私にとっての出前講座は「先ず随より始めよ(※1)」今自分にできる事は何かを考えた時、まず仕事内容や働く事について知ってもらうことが大切であり、それを伝える事は私にもできると思い、それを実践する場が出前講座だと位置づけています。中学生は仕事について、どんな仕事があるのか?なぜ働くのか?知らないのが普通です。知らない会社(仕事)に就く人はいません。仕事知って、興味を持ち、こんな仕事がしたい…と希望が広がっていきます。「伝える」という小さな積み重ねが事業を発展させ、大きな成果へとつなげていけたら幸いです。

(※1)遠大なことを望むのなら、まず手近なところから始めるとうまくいくものだ(故事成語)



<ニコニコBOX>

本日は、ゲスト・ビジターがいらっしゃらない例会です。気がねなく楽しい例会としましょう。次回例会は、ガバナー公式訪問例会となりますので皆様の参加をよろしくお願ひ致します。
理事役員一同

昨日の高山5クラブ親善ゴルフコンペ44名参加の中、見事ベストグロス賞に輝く事が出来ました。名前を呼ばれた時、思わず錦織圭と同じガッツポーズが出てしまい、心境は「世界の圭」の様でした。
島 良明

昨日の高山5クラブ親善ゴルフコンペお疲れ様でした。感謝を込めてニコニコへ。
岩本 正樹

昨日の高山5クラブ親善ゴルフコンペで、超たたきで何の戦力にもなれませんでした。時たまたたきはしますが、ホストファミリーの任務を剣田さんに仰せつかり如何にしっかり果たしているかの証だと思っております。毎日、ダメよ～ダメダメと英語で言うのは大変。おおむねいい子です。
高木 純

昨日の高山5クラブ親善ゴルフコンペ出席の皆様方ご苦勞様でした。自分以外の人を買いました馬券が当たりましたのでニコニコへ
伊藤 正隆